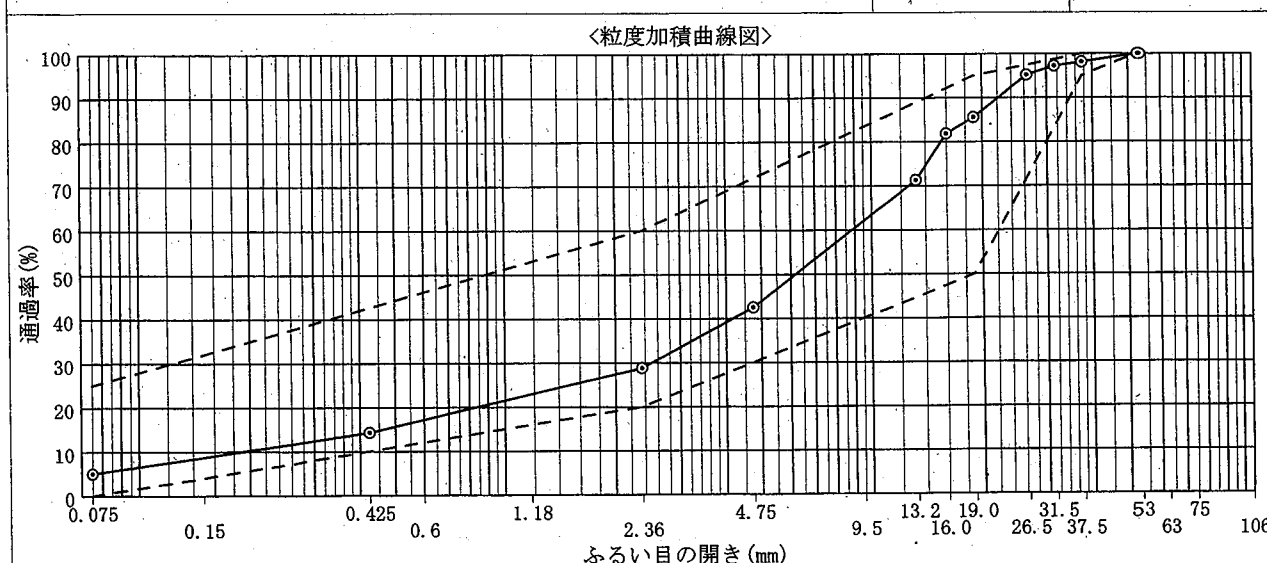


JIS A 1102 骨材のふるい分け試験

調査件名 名西ソイル室内試験 試験年月日 令和6年4月2日  
 試料名 改良路盤材 試験者

試料の種類	改良路盤材		採取年月日	令和6年4月1日	
試料の採取場所	改良路盤材土場		採取者		
全乾燥試料質量	2775.0 g		ふるい分け方法	手動	
ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる質量 (累加) (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
106					
75					
63					
53	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
37.5	54.1	54.1	1.9	1.9	98.1
31.5	78.3	24.2	0.9	2.8	97.2
26.5	133.7	55.4	2.0	4.8	95.2
19.0	402.0	268.3	9.7	14.5	85.5
16.0	504.3	102.3	3.7	18.2	81.8
13.2	794.3	290.0	10.5	28.7	71.3
9.5					
4.75	1594.6	800.3	28.8	57.5	42.5
2.36	1973.8	379.2	13.7	71.2	28.8
1.18					
0.6					
0.425	2377.2	403.4	14.5	85.7	14.3
0.15					
0.075	2635.1	257.9	9.3	95.0	5.0
以下(受皿)	2775.0	139.9	5.0	100.0	0.0
計	2775.0	2775.0	100.0		



備考 ※空白のふるい目については試験は行っていません。

# 修正 C B R 試 験

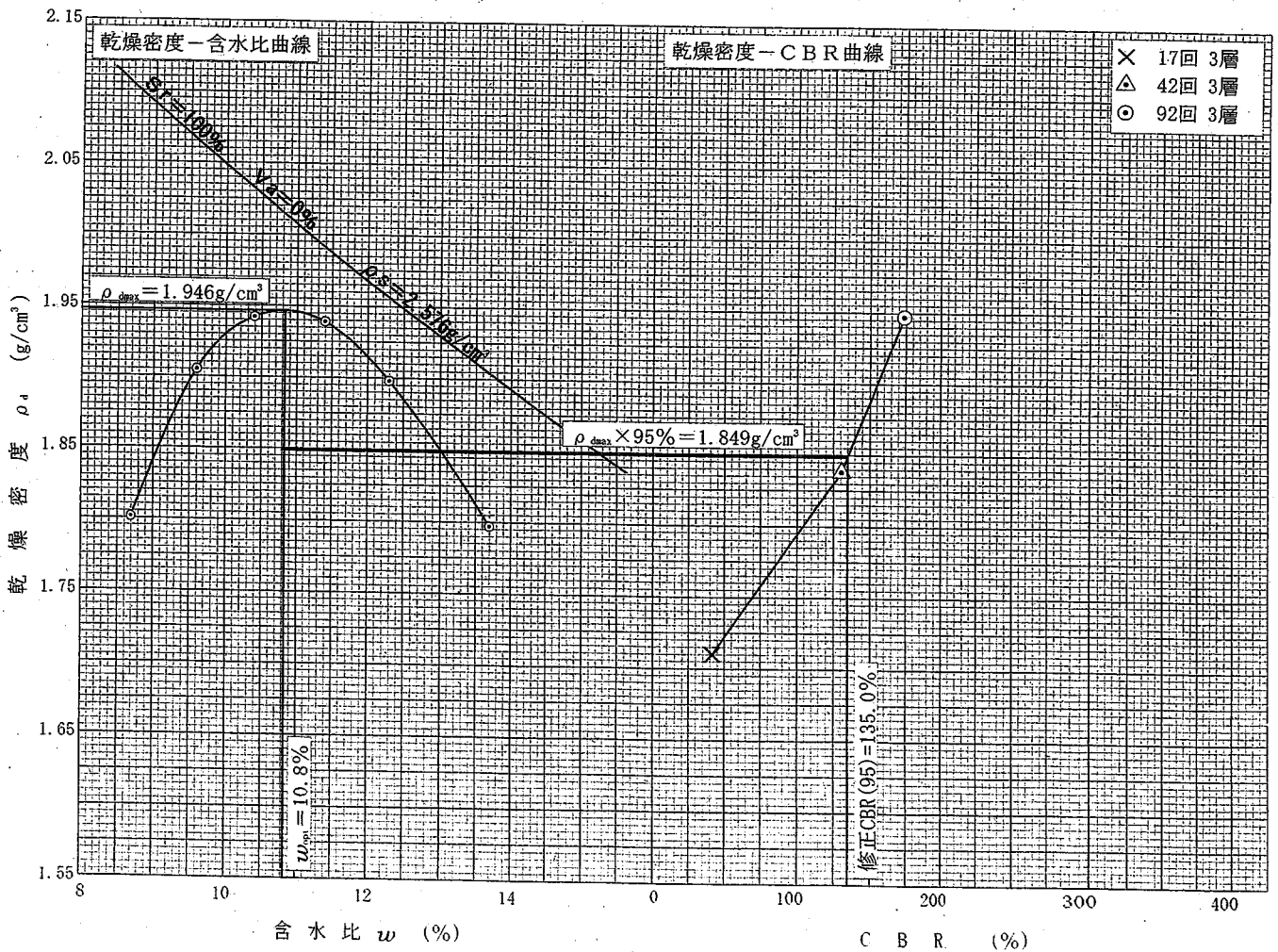
調査件名 名西ソイル室内試験

試験年月日 令和 6年 4月 16日

試料番号 (深さ) 改良路盤材90

試 験 者

突 固 め 回 数	回/層	17	( 3 層 )	42	( 3 層 )	92	( 3 層 )				
供 試 体 No.											
乾 燥 密 度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.701	1.710	1.720	1.841	1.841	1.831	1.940	1.949	1.952	
平 均 値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.710			1.838			1.947			
貫入量2.5mmにおけるCBR %		38.8	37.3	41.0	117.2	126.9	129.1	167.2	183.6	158.2	
平 均 値 %		39.0			124.4			169.7			
貫入量5.0mmにおけるCBR %		40.2	40.2	44.7	120.1	138.7	133.7	170.9	189.9	160.8	
平 均 値 %		41.7			130.8			173.9			
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>			1.946			縮 固 め 度 %			95
		最適含水比 $w_{opt}$ %			10.8			修 正 C B R %			135.0



特記事項

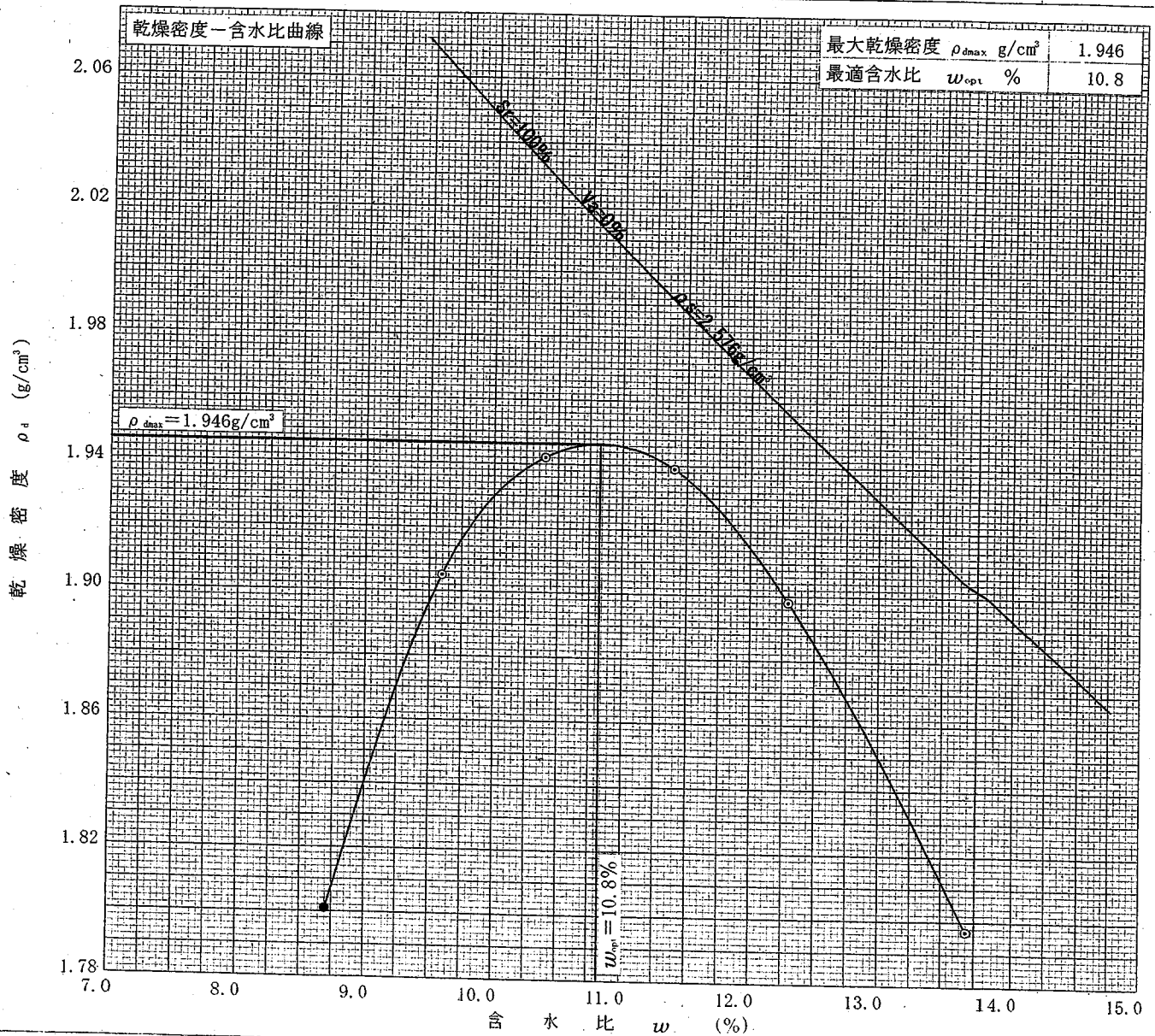
調査件名 名西ソイル室内試験

試験年月日 令和 6年 4月 3日

試料番号 (深さ) 改良路盤材90

試験者

試験方法	E-b		土質名称	改良路盤材					
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.576			
試料の使用方法	繰返し法, 非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調製前の最大粒径 mm	40.0			
含水比	試料分取後 $w_0$ %	10.8	突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15		
	乾燥処理後 $w_1$ %	8.7	突固め層数 層	3		高さ <sup>1)</sup> cm	12.5		
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	
平均含水比 $w$ %	8.7	9.6	10.4	11.4	12.3	13.7			
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.801	1.905	1.942	1.939	1.898	1.797			



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dmax} = \frac{\rho_w}{\rho_w \rho_s + w/100}$$